

令和2年1月12日に、米子市文化ホールにおいて
「あいサポートとつリフォーラム20」が開催されました。

鳥取労働局フォーラム特別企画とし、「本気でホンネ！」というテーマで、パネルディスカッションを行いました。

このフォーラムは、新しい時代の福祉を官民一体となって考えるために開催されているものであり、今回で20回目を迎えます。

コーディネーター：朝日雅也氏 埼玉県立大学副学長。

パネリスト：小島克己氏（株）ハピネライバー光代表取締役。

パネリスト：松本綾子氏 ワタキューセイモア（株）中国支店米子営業所米子工場工場長。

パネリスト：尾田雅之氏 障害者就業・生活支援センターしゅーと副所長。

パネリスト：難波寿和氏 臨床発達心理士。発達障害者当事者会を主宰。

パネリスト：長瀬博信氏 ハローワーク米子特別援助部門統括職業指導官。



お互いにニックネームで呼び合い、障害者雇用の本音（ホンネ）について語り合っていただきました。「事業主」も、「同僚」も、「支援者」も、「当事者」も、頑張っているのに起きてしまう行き違い（ボタンの掛け違い）が浮き彫りになり、この状況を打破するためにはどうしたらいいかと議論を深めました。

最後に、障害者雇用の質の向上に向けて、お互いの立場を認める「譲り合い」、一人に押し付けずみんなが関係者になる「分かち合い」、そして、せっかくの支援が的外れにならないよう相談を重ねる「語り合い」、（3つの「合い」）が大切であるということが語られました。